

2024年3月期 月次速報

※本資料の数値は、POS売上・受注等に基づく速報値です。実際の決算数値とは異なりますのでご了承ください。

1. 月次前年比

(%)

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
デンキセグメント	95.9	95.6	95.4	95.7	109.2	108.2	104.1	107.3	101.5										101.5
住建セグメント	103.9	95.7	102.9	100.7	99.9	104.5	103.3	102.6	101.6										101.6
金融セグメント	171.1	166.8	154.6	163.8	163.3	168.9	155.9	162.6	163.2										163.2
環境セグメント	112.3	111.6	101.0	108.0	102.1	111.6	112.8	108.6	108.3										108.3

※以下、速報値を使用しており、決算数値とは異なります。

- ・デンキセグメント：POS売上高
- ・住建セグメント：受注・売上高（※住宅販売等の受注高、及びその他の住設機器販売・施工等の売上高を合算した数値です。）
- ・金融セグメント：売上高
- ・環境セグメント：売上高

2. 概況

- ・デンキセグメント：9月度は、家電に対する消費動向は依然として厳しい中、残暑によるエアコン需要、新旧iPhoneが好調に推移した携帯電話が全体を牽引しました。消費動向の変化（旅行・外食需要）により、家電の販売数量は減少傾向にありましたが、高機能・高付加価値商品の提案、販売強化により販売単価は上がりました。また、新規出店も売上増に寄与し、前期を上回る実績となりました。
- ・住建セグメント：注文住宅が販促施策の影響により好調に推移し、前期を上回る実績となりました。
- ・金融セグメント：住宅ローンについて、フラット35の融資状況が業界全体の落ち込みに連動し前年を下回りましたが、NEOBANK住宅ローンが好調に推移し全体を牽引しました。
- ・環境セグメント：リユース品の販売が前年並みに推移した一方、家電・建設系廃棄物の再資源化事業が好調に推移し、前期を大きく上回る実績となりました。

3. 直営の店舗数推移及び売場面積

	4月	5月	6月	1Q	7月	8月	9月	2Q	上期計	10月	11月	12月	3Q	1月	2月	3月	4Q	下期計	累計
新店	6	2	5	13	2	0	1	3	16										16
退店	2	4	5	11	1	3	7	11	22										22
改装	2	2	0	4	4	6	2	12	16										16
店舗数	1,003	1,001	1,001	1,001	1,002	999	993	993	993										993
売場面積 (㎡)	2,827,182	2,825,737	2,863,826	2,863,826	2,867,406	2,864,927	2,861,750	2,861,750	2,861,750										2,861,750

※店舗数及び売場面積は、いずれも月末時点の数値です。

※売場面積は、新店のほか店舗改装等により変動する場合があります。